

「血液による消化器がんの検査方法の発明」が 平成 25 年度全国発明表彰「発明賞」を受賞しました

このたび、平成 25 年度全国発明表彰が決定し、「血液による消化器がんの検査方法の発明」（特許第 4953334 号）が「発明賞」を受賞しました。

今回の受賞では「血液による消化器がんの検査方法の発明」が科学技術的に秀でた進歩性を有し、かつ顕著な実施効果をあげており、優秀と認められたため、4 名の発明者が授与の対象となりました。

表彰式は、常陸宮殿下・同妃殿下の御臨席の下、2013 年 6 月 18 日（火）、ホテルオークラ東京において執り行われました。

功績名

「血液による消化器がんの検査方法の発明」

受賞者（発明者）

金子 周一	国立大学法人金沢大学	医薬保健研究域医学系・教授
本多 政夫	国立大学法人金沢大学	医薬保健研究域保健学系・教授
酒井 佳夫	国立大学法人金沢大学	医薬保健研究域医学系・准教授
山下 太郎	国立大学法人金沢大学	附属病院総合診療部・助教

【全国発明表彰とは】

大正 8 年にはじまり、皇室から御下賜金を拝受し、文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会などの後援により優れた発明を完成した者、実施化に尽力した者、発明の指導・奨励・育成に貢献した者を公益社団法人 発明協会の主催で表彰するものです。

表彰を通じて発明の奨励・育成を図り、日本の科学技術の向上と産業の振興に寄与することを目的としています。